

学校に関するアンケート結果について

秋冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、1学期末には学校評価のためのアンケートに御協力をいただきましてありがとうございました。その結果につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

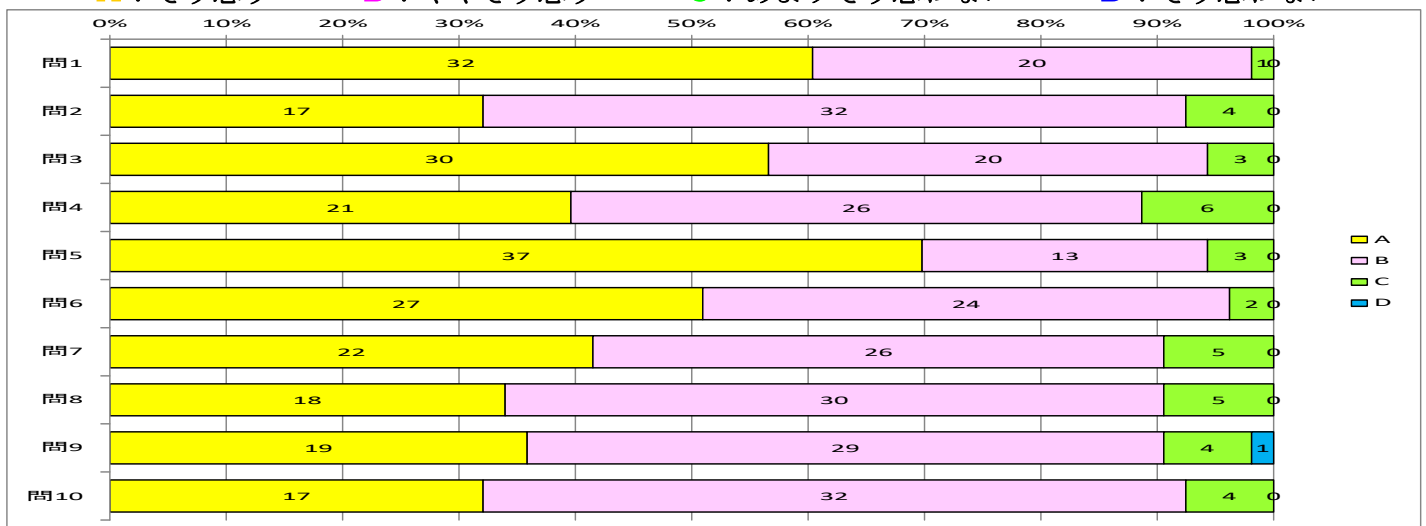
《保護者の設問・結果》

- 問1 お子さんは、「明るく、心豊かな子」に育っていると思われませんか。
 問2 お子さんは、「自ら学び、よく考える子」に育っていると思われませんか。
 問3 お子さんは、「健康で主体的に取り組む子」に育っていると思われませんか。
 問4 お子さんは、「あいさつのできる子」に育っていると思われませんか。
 問5 お子さんは、毎日楽しく登校していると思われませんか。
 問6 学校（学級）の教育方針や子どもの様子は、学校・学級だよりや参観日等で伝わっていますか。
 問7 学校は、子どものことについて気軽に相談できると思われませんか。
 問8 学校は、いじめのない学級づくりに努めていると思われませんか。
 問9 学校は、わかる授業づくりに努めていると思われませんか。
 問10 学校は、安全な教育環境が整っていると思われませんか。

☐ 学校に望む（期待する）ことはなんですか。（3つまで選択）

- ①学力向上の推進 ②心の教育や人権教育充実 ③体力向上の推進 ④学校行事充実 ⑤体験活動充実
 ⑥社会ルールやきまりを守る指導 ⑦教職員の資質・指導力の向上 ⑧特別支援教育の充実
 ⑨防災・安全対策の充実 ⑩開かれた学校づくり ⑪施設・設備の充実 ⑫その他

A：そう思う B：ややそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない



* グラフ中の数字は回答者の人数を表しています。

【学校に望む（期待する）こと】

3つまで選択

- 1 学力向上の推進 (49.2%)
- 2 社会ルールやきまりを守る指導 (47.7%)
- 3 体験活動の充実 (30.8%)
- 4 心の教育や人権教育の充実 (16.9%)
- 5 体力向上の推進、教職員の資質・指導力の向上、防災・安全対策の充実 (12.3%)

【自由記述欄（一部抜粋）】

- ・学校施設（駐車場）について
- ・教職員の働き方改革推進（欠席連絡のアプリケーション化）について
- ・給食のメニュー（食品ロス問題）について
- ・教職員の児童や保護者対応および学校環境・教育活動等への意見・感謝など（複数回答）

【保護者のアンケート 考察】

肯定的評価（そう思う・ややそう思うを合計した割合）が、全体で93%であり、10項目中、9項目が90%以上であった。ここから全体的には概ね達成と思われる評価が得られた。特に問1「明るく、心豊かな子」、問6「学校（学級）の教育方針」の肯定的評価（そう思う・ややそう思うを合計した割合）の割合が95%を超えており、道徳教育や教育相談の充実、学校だよりや学年だより、ホームページでの広報活動が評価されたと考える。逆に問4「あいさつのできる子」は、否定的評価が10%以上あるため、体育的行事の充実や児童会のあいさつ運動推進に努めたい。学校に要望する項目では、昨年度の2学期と上位5つは同じ項目であるが、5位に同率で、「⑦教職員の資質・指導力の向上」と「⑨防災・安全対策の充実」が入った。⑦については、今年度から教科書が新しくなったことによる指導法の改善や教職員の若年化による指導不足経験を懸念したためと思われる。授業改善に向けての校内研究の充実に努めたい。また⑨については、気候変動による大雨等の増加を心配し、学校への災害時対応を、さらに求めたためと考えられる。避難訓練や安全指導の研修を行い、児童・教職員共に安全意識の向上に努めたい。

【児童のアンケート設問・結果】

問1 明るく心豊かな子

①友達にやさしくできましたか。 ②友達をいじめたり、悪口などを言ったりしないで仲よく過ごせましたか。

問2 自ら学び、よく考える子

①自分から進んで勉強や宿題ができましたか。 ②自分でよく考え、勉強や生活ができましたか。

③毎日、家庭学習に取り組みましたか。(目安は、学年×10分)

問3 健康で主体的に運動に取り組む子

①体育の授業では、進んで運動ができましたか。

②休み時間や放課後の部活動でたくさん運動ができましたか。

問4 あいさつのできる子

①先生方 ②地域の方 ③おうちの人

問5 毎日楽しく登校できましたか。

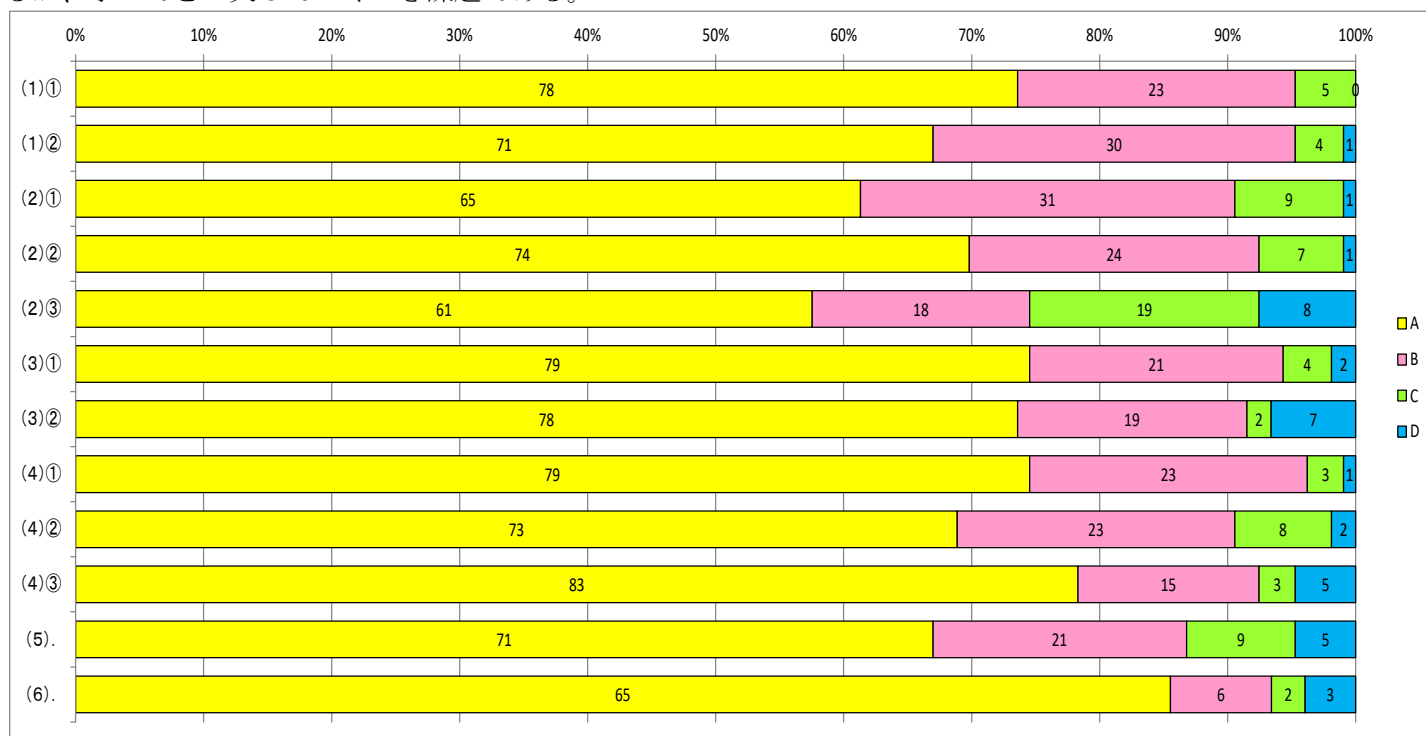
問6 先生方は、あなたが困ったときに相談にのってくれましたか。

A：よくできた（そう思う） B：少しできた（ややそう思う） C：あまりできなかった（あまりそう思わない） D：できなかった（そう思わない）

【児童のアンケート 考察】

設問全体で肯定的な評価（「よくできた」「少しできた」を合計した割合）が、91%であった。設問全体を通じてよく達成しているという評価が得られた。

肯定的意見が90%であった項目が、12項目中10項目あった。特に（1）①「友達にやさしく」、②「仲よく過ごす」、（4）①「先生方にあいさつ」の3項目は肯定的な評価が95%以上と特に高かった。これは学級集団として、人間関係が良好であり、先生との信頼関係も構築できていると思われる。しかし（2）③「毎日の家庭学習」は肯定的な評価が75%で12項目中、昨年度に引き続き最も低かった。家庭学習カードで定着を目指しているが、手立てを工夫していくべき課題である。



* グラフ中の数字は回答者の人数を表しています。

※（6）のE項目（相談することがなかった）に回答した児童数30名は集計外としてカウントしています。

全体的な考察

目指す児童像「明るく心豊かな子」「自ら学び、よく考える子」「健康で主体的に取り組む子」の観点から

（1）「明るく心豊かな子」については、保護者は98%、子どもたちは95%が肯定的な評価をしている。また、『学校に望む（期待する）こと』でも「心や人権教育の充実」の回答が4番目に多く、期待に答えていけるよう、さらに道德教育の充実を図っていきたい。

（2）「自ら学び、よく考える子」については、保護者は93%、子どもたちは86%が肯定的な評価であった。『学校に望む（期待する）こと』において、最も回答が多かった「学力向上の推進」も踏まえ、2学期は、「家庭学習」の意欲化を図りつつ、話し合いや発表などの活動を入れた授業を充実させていきたい。また、保護者の「わかる授業づくり」の肯定的評価は91%と高評価であったが、『学校に望む（期待する）こと』では、「教職員の資質・指導力の向上」の回答が5番目に多いため、授業力向上を目指し、全職員で校内研修を充実させ、取り組んでいきたい。

（3）「健康で主体的に運動に取り組む子」については、保護者は94%（昨年87%）、子どもたちは94%（昨年93%）であり、肯定的な評価が続いている。また、保護者・子どもたちともに昨年度と比べると、やや増加している。これは1学期に1000か所ミニ集会にて実施した「おなか元気教室」において説明された『生活習慣の重要性』を保護者や児童が理解し、自分事と捉え、各家庭や学校において健康な生活を実践したものと考えられる。学校としては、体育の授業や体育的行事を充実させ、各保健行事においても「栄養・運動・休養」のバランスのとれた生活の重要性を指導していきたい。